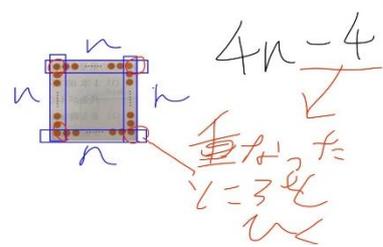
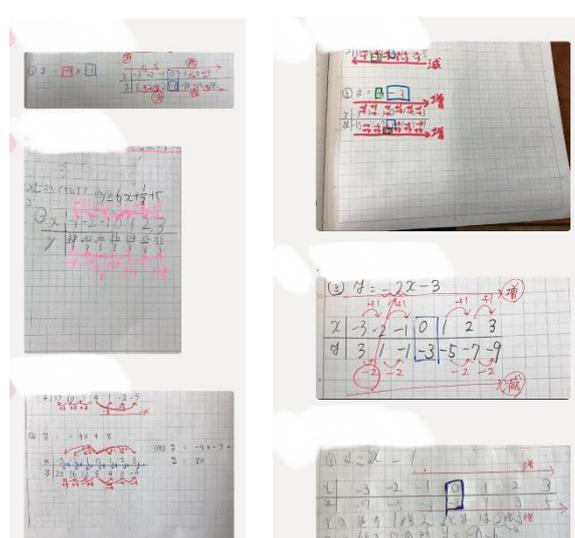


# ICT 実践レポート

作成者【長良中学校】 氏名【川野佑樹】

学年	第1学年, 第2学年
教材	「文字と式」第3節 文字と式の利用 「1次関数」第1節 1次関数の値の変化のようす
活用したソフト・アプリ	・スカイメニュークラウド <a href="https://gg-kyouiku.skymenu-cloud.net">https://gg-kyouiku.skymenu-cloud.net</a> ・TEMES オンライン会議
活用したICT機器	・iPad (生徒一人一台) ・大型モニター (教室備え付け)
活用の実際	<p>第1学年 「文字と式」【実践1】</p> <p>○様々な意見の集約、生徒の考えの比較にスカイメニューを活用。ノートでもスカイメニューのノートでもどちらでもいいので考えを書き込めるように活用。ノートに書きこんだ生徒は、写真をiPadで撮影し、スカイメニューに投稿する。このような活用をする利点は以下の2点である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生徒の考え方を先生機のiPadで見ることができ、生徒の実態に沿った机間指導ができる。</li> <li>2. 生徒の画面を並べて大型画面に表示することで容易に考え方の比較ができる。</li> </ol> <p>第2学年 「1次関数」【実践2】</p> <p>授業の初めに teams で会議を開き全員が参加する。今回は途中の個人追究の場面と終末の演習の場面で活用した。活用したのは会議のコメント欄である。様々な1次関数の変化のようすを見つけ出すために、2つほどの式を共通して考えさせた後、自分で式を作成し、その式の変化のようすを見つける活動を行った。このような一般化を図る場合、多くの事例が必要である。しかし、ノートの一つ一つ全体交流で確認するには時間がかかる。そこで、このコメント欄を活用し投稿することで様々な考え方を短時間で交流することができた。</p> <p>また、最後の演習の時間には、teams のクラスノートブックを活用し、書き込ませながらペア交流を行うことで、自分の考えを示しながら対話することができた。</p>   
生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型スクリーンに映し出された仲間の考え方の過程をヒントにしなが、自分の考え方を深めることができていた。(1年生)</li> <li>・様々な考え方を数多く紹介することで、「どんなときでも言える1次関数の特徴」を見つけことができ、自分の考えを比較したり、「そんな式でも同じことが言えるんだ!」と新たな考え方に興味を示したりする生徒が多くいた。(2年生)</li> </ul>
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は ICT を活用し授業の効率化を図った。これまでは黒板に示すしかなかったので考え方の数に限界もあった。しかし、ICT を活用し様々な考え方を共有することで生徒の中で様々な視点を生み出すことができた。終末の時間にたくさんの演習の時間を割きたいと考えた上でも、このように ICT 機器の活用は効果的だと感じた。</li> <li>・この実践には書いていないが、1次関数のグラフを考える際に Geogebra を活用した。たくさんの点を取ることで「本当に直線になる。」と視覚的に実感することができていた。このような視覚的な情報を容易に共有できるという点においても ICT の活用は効果的である。</li> </ul>